

2012. 08. 26 第8回院生ミーティング議事録

日時：2012年8月26日（日）15:00～18:40

場所：大学生協杉並会館 地下会議室 B102・103 会議室

参加者 M2：16名、M1：17名、事務局：1名

【議事録】

○開会にあたり、自己紹介を行った。

【報告事項】

1. セクション活動報告

◆星セクション 8/25-8/26 群馬県：孀恋

・参加者10名（M2：2名、M1：8名）

◆英語セクション 8/26 10:30-12:00

・人数が減ったために、テーマを変更し人生などについて英語で語り合った

◆即興術セクション 8/26

・参加者4名

・前回までは言葉でやり取りしていたが、今回は無言（体）でどこにいるのかを表現する

○ぜひM1も手順を踏んでぜひ企画を

2. 夏合宿の参加者募集のお知らせ

・内容の再確認と二日目の内容について 紹介があった。

【協議事項】

1. 院生ミーティングの新規部門（渉外・広報部門）設置に向けての提案

・院生ミーティングの組織についての説明ののち担当者より提案し、意見交換した。

（1）背景（2）目的（3）現状（4）渉外・広報部門の組織構成（案）

（5）今後の展望

2. Twitter のロゴマークについて

（1）東京、院生、生協がわかるように5つの案を提示。意見交換した。

3. 新院生向け冊子～院生 Style Book～編集メンバー募集（M1）

・新院生向け冊子に関する説明と今年の作業状態を説明し編集委員を募集

4. 夏の交流会の報告と振り返り

（1）開催日時 8/5 10:00- 天候良好、怪我・病人なし。参加者 67名

（2）準備期間について（3）当日（4）アンケート結果から

・ニーズは達成できていたと考えられるため、イベントとしては成功

（5）フォトアルバムの閲覧（6）サポスタから一言仕事紹介、総括コメント

5. 秋の交流会に向けて

（1）方向性の提示（研究発表会、進学・就職関連）を行ったあとグループ毎に意見出しを行った。

（2）担当の募集

【確認事項】

1. 夏合宿については 29 日までに申し込みを行う。午後についてソーセージ作りは第二希望も記載する。変更は 31 日まで担当者へ
2. Twitter のロゴマークについては 今回の意見を基に再検討し提示する。キャラクターマークについては承認を得る申請をする。
3. 新院生向け冊子編集担当は M1 : 3 名
 - ・ 9/15 合宿までにコンセプトなど概要を検討し合宿時に提案する
4. 夏の交流会について
 - ・ HP 用報告をスタッフの中で担当を決めて作成し web 担当へ至急送る
5. 秋の交流会担当は M1 : 4 名
 - ・ 9/15 合宿までに今回の意見を基に概要案を検討し合宿時に提案する
 - ・ 秋の交流会内容については 合宿で決定
 - ・ 担当は今後も募集を継続する。
6. 全国院生セミナーへの参加希望者は事務局まで連絡する。
7. 次回日程 : 10 月 13 日 (土) 会場は未定 (渋谷会館を調整中)

以下に【主な意見交換】

【協議事項】

1. 院生ミーティングの新規部門 (渉外・広報) 設置に向けての提案
 - (1) 背景 : 院生ミーティングの活動は自分たちの中で完結しているのではないかとより広げていく必要がある
 - (2) 目的 : ①生協内外に対するアピール (ex.院生 Style Book)
②生協組織・他の学生組織との連携 (ex.東工大新歓)
③組織の運営継続 (次代へ規模の拡大)
 - (3) 現状 : 新歓、総代会、パンやおにぎりの試食会
→いろいろな大学でしてほしい、そのノウハウを蓄積、広めていきたい (広報手段等)
 - (4) 渉外・広報部門の組織構成案
①全国院生委員 (生協とのつながり) ②渉外担当 ③広報誌担当 (院生 Style Book)
 - (5) 今後の展望 : 月報 (見開きの新聞のようなもの)、総代に入っている大学間の情報共有など
→土台を現 M2 世代が作り、それを進めていく

<質疑応答>

Q.企画し始めた 3 月から、今までにしたことは？

A.東工大の新歓くらいしかできていない (大学内で完結している。) いろいろな情報を集めて、それを集約する役割を担いたい

Q.全国院生委員が渉外担当に含まれているが、全国院生委員にその話はしているのか

A.全国院生委員の人には渉外を兼任してもらおう形になるが、外からの意見などを全国院生委員に聞いてもらい、それを集約したい。他に何かいい意見があるなら聞きたい

意見：東工大の感覚でやらない方がいい。大学により院生の数も違うし、難しいことも多い

Q.今ミーティングがやっている企画などは、企画の数も少ないが、今のものも充実しているし、それは今までの蓄積で企画を練っているのではないのか。

A.今企画をやっている会員生協（大学）の数が少ないので、もっと成功例をふやしたい。いろいろな活動を外部に。

Q.広報自体が目的に見える。広報はプロセスであって、その先に何があるのか。目的の方が重要だし、現段階でも十分にやっている企画に対してそれをもっと広げることのリスクは高い。今でもかなり負担があるのに、それを広げるのは危険ではないか。

A.なぜ広報に重点を置くのは人を集めたい、もっと認知をしてほしい。新歓イベントに関してはもう十分かもしれない。ただし、昨年の夏交流のように、院生らしいイベントが内部で完結しているように見える。だから、まずは広報をして人を集めて活動をしていくきっかけとして渉外部門を置きたい。

意見：今の院生ミーティングの活動を円滑に、かつ充実させていくということを主軸に置いて、そこからずれることのないようにしてほしい。自分たちの負担を軽減させるような活動を目指してほしい。今の提案だと、会員生協への広報なのか、企画ごとの広報活動なのかがまだ曖昧になっていると思う。院生ミーティングの活動は、現在生協内でも十分に周知されていないため、まずはそういった会員生協や内部に広報するところから初めてほしい。そうすれば、自分達の広報活動の円滑化にもつながる。

2. Twitter のロゴマークについて

・東京、院生、生協がわかるように提出された案を参考に5つの案を提示

<意見>

- ・ロゴはHPのトップの文字を使えばよいのでは →HPのトップは、今は普通のテキスト
- ・ブログのロゴは2代前の先輩が作成
- ・twitterではアイコンで判断されることが多いので、イラストなど、情報を減らした方がいい
→その4とかその5がよいのでは
- ・黄色が上にあると生協のロゴに目がいけないかもしれない

3. 新院生向け冊子～院生 Style Book～編集メンバー募集（M1）

・新院生向け冊子に関する説明

編集担当者は冊子全体のコンセプトや構成について考え、記事を依頼し、取りまとめて編集する冊子のスタイル自体も編集委員が自由に設定可能（ex. ~2011:レポート形式、2012:フリペ風）

・コンセプトを本日～夏合宿までに編集委員で考案、夏合宿で提示

その後の進度に関しては内容次第、入稿は12月、1月には配布（例年、早稲田）

Q.どのくらい作業していたのか

A.去年は前例がなかったために、週2くらいで会っていたが、記事の割り振りもしていたので、それについては内容次第などところもある

Q.オンラインアンケートとは

A.院生生活実態調査のためのアンケート調査です

4. 夏の交流会の報告と振り返り

(1) 開催日時 8/5 10:00- 天候良好、怪我・病人なし 参加者 67名

(2) 準備期間について

＋：企画と備品管理がよかった

－：会議が長い、仕事量のばらつきがあった

(3) 当日

＋：予定通りに進行、スタッフ同士が仲良し

－：ドタ参、ドタキャン問題（ドタキャンが10名以上）

(4) アンケート

企画を知ったきっかけは口コミとHPが多かった

情報はポスターなどの効果が意外と高かった

参加動機は友達作りがメイン、リフレッシュという目的はそれほど重視されていない

満足度について→夏なので、散策は暑さによって満足度が他に比べて下がった

ニーズは達成できていたと考えられるため、イベントとしては成功

(5) フォトアルバムの閲覧

(6) M1からのサプライズ to サポスタ（プレゼントお渡し）

(7) サポスタから一言（一人ずつの仕事紹介、コメント&総括的に一言）

意見：・参加者を院生ミーティング内部の人と外部の人とを分けてどのように情報を得たのかを調査すればもっと有益かも

・HPに活動報告をのせるため、作成担当者を決定してほしい

広報の終了時期を設定の上、Twitter、FBなどの広報ツールの処理もする必要あり。

5. 秋の交流会に向けて（大卒のテーマ決めと幹事さん募集開始）

(1) 方向性の提示：研究発表会、進学・就職関連

→必要であれば、OB&OGに協力を願える（OB&OG会の設立による）

(2) 幹事はM1、M2問わず募集（合同で企画できる最初で最後の機会）

(3) グループワーク

内容：・グループディスカッション（M1：4、M2：8）

①ディスカッションを楽しむことをメインに、就活対策など。

②グループでやらないといけないことを行う。

③結果を紙にまとめることで表現力向上につなげる。

・研究系（M1：1、M2：2）

①自分の専門分野に加え、趣味に関することを調べて発表。

②昨年度発表したものが、一年間でどのくらい進んだのかを発表。

③学会形式で修論発表を行う。

④各分野ごとの勉強法などをシェアする。

・講演会（震災関連など、教授に講演をお願いする）（M1：1、M2：2）

・体調管理（M1：14、M2：2）

- ①心身ともにたまったストレスを解消できるようにする。
- ②栄養を考えた食事を作り、食事をしながら OB/OG との懇親会を行う。
- ・進路相談会（一方通行にならないよう聞くことができるような形で）（M1：1、M2：0）
 - ①院生向けの情報に特化したものにする。
 - ②座談会形式で行う。
 - ③M2 が面接官役になって就活対策を行う。各セクションと関連させる。
- ・悩み相談（院生の主張、休憩ブースなどでの語り）→メイン企画ではない方法として：グループワークで進める（内容を紙にまとめて成果物にするなど）

【報告事項】

1. 院生ミーティング夏合宿の参加者募集のお知らせ

内容：生協勉強会、ビジネスコンテスト、BBQ、懇親会など

→二日目に会議をするため、9月定例ミーティングは行わない予定

・二日目の内容について

ソーセージ作り：6名→10名程度

陶芸体験：7名スポーツ：14名

→ソーセージ作りは人数20名以上で開催、少なくとも10名は必要なので、第二希望を提示変更する場合も担当者まで連絡

2. まとめ・今後の予定

1) 第一回シンキング・オブ・ワーキングセクション

2) 院生ミーティング夏合宿

3) 全国院生セミナー：参加申し込み9/20まで 興味があれば事務局まで

4) 次回ミーティングについて：10/13

5) 生協からのお知らせ：9/8 リリパック見学会の紹介